

科目名	担当教員	学期	単位
政治学研究方法（数理分析）（発展）	須賀 晃一	後期	2

講義概要 政治学研究方法（数理分析）の上級コースとして、実際にゲーム理論的分析手法によって政治学研究を行うための技術を取得することを目的として開講する。より上級のゲーム理論を習得しそれを用いて論文を書く能力の開発をめざし、下記のテキストを輪読する。

シラバス

- [第1回] 数理分析の方法
- [第2回] 選択理論（I）：有限空間
- [第3回] 選択理論（II）：無限空間
- [第4回] 不確実性下の選択
- [第5回] 期待効用仮説への批判
- [第6回] 社会的選択（I）
- [第7回] 社会的選択（II）
- [第8回] 標準型ゲーム（I）
- [第9回] 標準型ゲーム（II）
- [第10回] ベイジアン・ゲーム
- [第11回] 展開型ゲーム（I）
- [第12回] 展開型ゲーム（II）
- [第13回] 不完備情報下の動学的ゲーム
- [第14回] メカニズム・デザイン
- [第15回] まとめ

教科書 N. McCarty and A. Meirowitz, Political Game Theory: An Introduction, Cambridge University Press, 2007.

参考文献 適宜指示・配布する

評価方法 課題の提出（50％）、発表など授業への参加・貢献度（50％）

関連URL <http://www.f.waseda.jp/ksuga/>

備考 授業の進め方
講義は、参加者全員が指定テキストを読んでいることを前提に、報告と討論形式を併用して行う。報告者をあらかじめ決め、報告を行ってもらう。事前に文献の読めていない人の受講は認めないので注意すること。